

# 「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

秦 康夫

2015年 11月 25日（水） 9:00～13:30

- 作業項目： 1) 全面刈り取り  
2) ススキの収穫

今年は晩秋の全面刈りを11月と12月の2回実施することになっており、今日はその第1回である。台風で一部崩壊した林道はまだ使えないので、道具をかついで登山口から東お多福山の作業場所まで登り、作業を始めた。

8団体に環境省と神戸県民センターの担当者も加え、今日の参加者は50数名になる。2班に分かれ、第2調査区（コドラート）と第6調査区の全面刈り取りを行う一方、刈り取ったササに混じる枯れススキを選り分けてススキの束を作った。これは、今日参加の「くさかんむり」の会が持ち帰って、芦屋市の会下山遺跡茅葺き屋根の葺き替えに利用するためのものである。

午後から天候悪化との気象情報で、今日の作業は午前中だけの予定だったが、予報通り12時頃からポツリポツリして来たので早々に作業を切り上げ、30束程のススキと道具を分担して背負い下山した。

今日は多人数だったので相当広範囲に作業が進んだ。また「くさかんむり」の会の話では、ススキの収穫量は昨年とは段違いに多かったそうで、ススキ草原復活も徐々に進んで来ているようだ。

## 【参加者】

斧田一陽、秦康夫、田島聖子、森脇肇子(会員外)計4名



① 作業中の表示



② 刈り払い機で作業中





③ 刈り取ったササを集める



④ ススキの束は分担してかつぎ下ろす